

10月11日三里塚闘争の圧倒的成功をひきつぎ、国鉄労働者こそ全人民の闘いの最先頭に立ちよ!

十・一一、三里塚現地集会は、雨にもめげず、とりまく情勢の全労働者・人民にかけられた大反動攻撃に怒りをもって反撃する突破口を圧倒的成功をもって切り開いた。三里塚闘争が、支配階級にとって最大のアキレス腱であるがゆえに、八三年二期着工への暴力的強行手段に反対同盟解体・三里塚闘争破壊に全体重をかけてきたのであるが、十・一一の怒りと大成功はこれをみごとに粉碎し、いよいよ今秋から、八三年春にむけた二期着工の決戦に突入することも同時に確認された。

三里塚闘争に敵はなぜ全体重をかけるのか、それはまごうことない軍事大国化への道であるからだ、三里塚闘争を叩き潰す以外にその突破口はないからだ。

軍事大国化・改憲阻止

軍事大国化の道を進むために、日本の支配階級は、労働者・人民にすべてそのための犠牲になれといているのです。臨調・行革―国鉄労働運動解体―教科書問題さらには、「人勧凍結の攻撃を暴力的に強行してきているのです。

核の闘いは全世界に広がっています。日本においても、三・二一、五・二三、とくに五・二三では四〇万の労働者・人民が結集し、三里塚闘争・反対同盟がその先頭をにないきるものとして立ちました。われわれは、総評が呼びかけた十・二―国際反戦デー中央集会・代々木公園、千葉県では、都川公園の闘いに決起し、この闘いをもって十・二四反戦・反核大阪全国五〇万人集会に全力をあげて決起しようではありませんか。

勝利争闘トジェット三里塚 / 粉碎粉革行 / 調臨

10-21 国際反戦デー 10-24 反戦・反核大阪集会 地球揚高の大

日本独自の軍事大国化は、経済の崩壊を軍事でとりもどすという、公然たる侵略戦争宣言なのです。"国土も資源もたない"日本がなぜ「侵略に対する防衛」なのか、一〇〇%ウソである。これらの状況をうみ出しているのは、世界と日本の帝国主義者なのです。かつて帝国主義大国・盟主であったアメリカは、日本のそれと同じく、危機的状況を再び世界の労働者・人民を支配する手段として軍事力、とりわけ核軍拡に核をその道具として行おうとしているのです。われわれは、核がどのようなものであるか、戦後三〇数年たった今日でも、核による人民の犠牲は続いていることを知っています。世界・日本帝国主義の歴史は、常に、労働者・人民を犠牲にし、殺りくし、その上にたってきたことを断じてわすれてはならないのです。いま、われわれはその核戦争に目をそむけてはならないのです。もしこの事を許してしまえば、再び戦争への被害者否加害者たる、過去のあつてはならない歴史をくりかえさなければならぬのです。

そうしたものとして怒りをもって、戦争への推進者・協力者支配階級に対決し、反戦・反核の立場を鮮明にして闘い抜こうではありませんか。

反戦・反核闘争に起とう

ヨーロッパ・アジア・アメリカなど、反戦・反



全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!